

特定小電力 コードレス・パーソナルコールシステム

ReplyCall

リプライコールPC

| 取扱説明書 |

I N D E X

ご利用の前に

■ はじめに	1
■ アプリダウンロード	1
■ PCに送信機を接続する	2
■ 受信機を充電する	2

製品紹介

■ 専用アプリ画面	3
■ 送信機	3
■ 受信機	3
■ 充電器	4
■ 中継機	4
■ 充電器のお手入れ方法	4

基本操作

■ 使用方法	5
■ 便利な使い方	5

設定方法

送信機を設定する

■ チャンネル番号の設定	6
■ 定期送信機能の有効／無効の設定	6
■ 定期送信の送信間隔の設定	6
■ 受信タイムアウト時間の延長設定	6

アプリを設定する

■ PCに送信機を接続する	7
■ 登録コードを設定する	7
■ その他の設定	8

受信機を設定する

■ チャンネル番号の設定	9
■ 受信機番号の設定	9
■ 受信機の設定例	10
■ その他の設定	11

設定一覧表	12
動作環境／仕様	13
お手入れ方法	14

故障かな? と思ったら	14
安全上のご注意	14
保証とアフターサービス	15

はじめに

リプライコールPCは、ハンディサイズの受信機をPC／タブレットを活用して簡単に呼び出せるコードレス呼び出しシステムです。受信機には2画面の液晶が付いているので、呼び出しだけでなく、簡単な指示も送ることができます。従来のリプライコールを上回る高機能&高操作性を実現しています。

主な特長

最大500台の受信機に対応!

1台のリプライコールPCが対応可能な受信機数は、最大500台! 業務の可能性を大きく広げるパワフル設計です。またPC側で255の登録コード※の管理に対応。受信機へワンタッチで登録コードを送信できます。

※01～FFまでの英数字の組み合わせ。事前に「A1=本部」「35=北側搬出口」など設定しておくことで、業務を円滑に行えます。

受信機に登録コードを表示。呼ばれている場所を一目で確認!

受信機が呼び出しを受けると、表示窓に登録コードが表示され、どこから呼び出しされているのか一目で把握できます。また受信LED・チャイム音・バイブレーションなどで通知できるので、見逃す心配もありません。

受信機への呼び出しが無事届いたかを、PCで確認可能!

送信した登録コードが受信機に届いたか、受信者が受信を確認したかをPCの画面上で確認できます。送信エラー(圏外や充電切れ)の場合は×と表示されるほか、簡単操作で再呼び出しも可能です。

アプリダウンロード

リプライコールPCのご利用には専用アプリが必要です。下記URLよりダウンロードし、ご利用のPC／タブレットにインストールしてご利用ください。使用できる環境はP13「動作環境」をご覧ください。

URL:http://echo5555.co.jp/lineup/reply_pc/dl.html

または



ダウンロードしたzipファイルを解凍後、フォルダ内の「ReplyCall PCインストール手順」というPDFファイルをご確認の上、指示に従ってインストールしてください。

PCに送信機を接続する

リプライコールPCは、専用アプリをインストールしたPC/タブレットと送信機をUSBケーブルで接続して使用します。

- 1 PCにUSBケーブルを接続します。
- 2 PCに接続したUSBケーブルを送信機に接続します。
- 3 送信機に自動的に電源が入ります。



このとき番号表示窓には下記が順番に表示されます。



※送信機ファームウェア番号は、将来のバージョンアップの際に確認用として使用するものです。通常のご使用時には特に意識する必要はありません。

圏外表示機能を有効(工場出荷時は有効)にしている場合は、表示窓の右下にドットランプが点滅(約10秒間隔)します。10秒ごとに圏内確認送信を自動で行います。詳しくはP6をご覧ください。



受信機を充電する

受信機は充電してご利用いただけます。

最大ご利用可能時間は約30時間で、フル充電には約6時間必要です。

- 1 充電器にACアダプタを接続します。
- 2 ACアダプタをコンセントに差し込みます。
- 3 充電器の電源スイッチを押します。
- 4 受信機を充電器の受信機差込口にセットします。



- 充電中は受信機の状態表示LEDが緑色に点灯します。
- 受信機のバッテリー残量が少なくなると、電池残量表示LEDが点滅します。その場合には速やかに充電してください。また電池残量が十分でないと、誤作動の恐れがあります。
- フル充電の数分前に受信機の状態表示LEDがゆっくり点滅し、その後消灯します。

⚠【ご注意】 ● 充電器は約5秒以内の瞬間停電には復帰対応します。しかし、停電時間がそれ以上の場合は電源がOFFになります。
● 送信機・受信機・充電器を高温/低温の場所での設置またはご使用は避けてください。動作不良や誤作動の原因になります。使用推奨温度:約5℃~45℃(中継機を含む)

各部の名称／機能

専用
アプリ
画面

設定ボタン
各種設定の際に使用します。登録コードの設定もこちらで行います。

送信先表示画面
10キーで入力した数字を表示します。

受信機受信済みのみ表示
送信機からの呼び出しを無事に受信した受信機のみを表示します。

呼び出し完了のみ表示
送信機からの呼び出しを無事に受信し、「確認」ボタンが押された受信機のみを表示します。

通信履歴
これまで呼び出した受信機番号とその結果の履歴が、上から順に表示されます。

コールキー（呼び出しキー）
10キーで入力した受信機番号を呼び出す際に使用します。

登録コード一覧
登録したコードの一覧が表示されます。受信機に表示するコードを選ぶ際に使用します。

10キー（0～9）
呼び出したい受信機の番号を入力する際に使用します。

クリアキー
誤って入力した呼び出し番号を1桁消去する際に使用します。

オールクリアキー（ACキー）
誤って入力した呼び出し番号を全て消去する際に使用します。

【アプリの終了方法】

■PCをご利用の場合

ウィンドウ表示の場合…ウィンドウ右上の「閉じるボタン」

全画面表示の場合 ……ディスプレイ右上にカーソルを移動すると表示される「EXITボタン」

■タブレットをご利用の場合

画面右上をタップするとアプリが終了します。

EXITボタン

この辺を「タップ」

送信機

アンテナ
ロッドアンテナを装備。角度調整も行えます。

ACアダプタ接続口
リプライコールPCでは使用しません。

電源スイッチ
リプライコールPCでは使用しません。

クリアキー
リプライコールPCでは使用しません。

コールキー（呼び出しキー）
リプライコールPCでは使用しません。

オールクリアキー（ACキー）
リプライコールPCでは使用しません。

受信表示窓
呼び出したい受信機の設定番号を表示します。

10キー（0～9）
リプライコールPCでは使用しません。

受信機

状況表示LED

呼び出しや充電中などの状況を表示します。

電池残量表示LED

電池の残量を表示します。
LEDが点滅した場合は速やかに充電してください。

確認ボタン

呼び出しチャイム音やバイブレーションを停止すると同時に、送信機へ受信完了の信号を送信します。
また、長押し(3秒程度)で電源OFF、短押しで電源ONになります。

スピーカー(内蔵)

呼び出しチャイム音が鳴ります。

バイブレーションモーター(内蔵)

呼び出しをバイブレーションでお知らせします。

ストラップホール

携帯電話用のストラップが取り付けられます。

(表面)

圏外表示LED

受信機が圏外になった場合に点滅します。

番号表示窓

登録コード番号を表示します。



充電器

受信機差込口

受信機を設置すると充電を開始します。

充電器収納スペース

お手入れしやすいよう、ワンタッチで取り外しできます。

電源スイッチ

電源ON/OFFが行えます。

ACアダプタ接続口

ACアダプタを接続して使用します。

⚠ 画像は10台用です。5台用もご用意しています。



中継機

中継機は「リプライコール」と同じ製品です。

詳しくは、「リプライコール 中継機 取扱説明書」をご覧ください。

充電器のお手入れ方法

受信機収納スペースにホコリなどが溜まると、充電不良の原因となることがあります。
お手数ですが、定期的に清掃することをおすすめします。



1 受信機収納スペースのロックを外す

受信機収納スペース横のロックを「OPEN」の位置までスライドさせ、ロックを外します。



2 受信機収納スペースを取り外す

受信機収納スペースを持ち上げて、充電器本体から取り外します。



3 汚れを拭き取る

充電器本体に記された矢印の方向に従って、柔らかい乾いた布などで汚れを拭き取ってください。

⚠【ご注意】 ●必ず矢印の方向に従って拭き取りを行ってください。方向を間違えると充電端子を傷めることがあります。
●濡れたタオルや雑巾などで拭かないでください。水分が故障の原因となることがあります。

使用方法

▶ 呼び出しの流れ

1 受信機を配布

設定された受信機番号をご確認のうえ、呼び出したい方へ受信機をお渡しします。



2 呼び出し

下記の3つの動作で受信機を呼び出します。

- ①あらかじめ登録しておいた登録コードを「登録コード一覧」から選択
- ②10キーで受信機番号を入力
- ③コールキーをクリック



3 受信

受信機は受信LED・チャイム音・バイブレーションで呼び出しを通知。無事呼び出しが届いた場合は、PC画面の表示が「呼び出し中」から「受信機受信」に変わります。



4 確認～呼び出し完了

受信機の確認ボタンを押すと、通知動作を停止。同時にPCへ確認完了の信号が送信され、PCの画面表示が「受信機受信」から「呼び出し完了」に変わります。



【簡単再送】

通信履歴に表示された呼び出しと同じ呼び出しを行う場合は、簡単操作で再送することができます。

- 1 呼び出したい履歴をダブルクリック
- 2 コールボタンを押す



TOPICS!

通信状況をアイコンで表示

PC画面の通信履歴では、呼び出した結果をアイコンで表示します。それぞれの意味は右記の通りです。



便利な使い方

▶ 送信機からの呼び出し履歴を確認する

受信機は、呼び出された登録コード番号を5件までメモリ内に記録しています。複数の送信機から呼び出された場合でも、呼び出された順に対応することが可能です。

- 1 確認ボタンを2回早押しします。
- 2 最後に呼び出された登録コード番号が点滅表示されます。
- 3 点滅表示中に確認ボタンを短押しすると、呼び出された送信機番号を5件まで表示します。確認ボタンを長押しすることで、番号表示をOFFにできます。



⚠【ご注意】記録した呼び出し履歴は、受信機を充電器にセットした時に消去されます。

▶ 受信機の「圏外表示機能」と送信機の「圏外探知機能」

受信機・送信機ともに、圏外時には通信ができないことを自動で知らせる機能が搭載されています。

圏外表示機能 (受信機)

受信機が送信機の定期送信※を一定時間受信しなかった場合、圏外(受信可能エリア外)に受信機があることを異常時動作で所持有者に知らせる機能のこと。

※呼び出しを行っていないときでも確認のため、一定の間隔で電波を自動送信する機能(設定はP6)。

圏外検知機能 (送信機)

送信機が呼び出しを行った際に、「受信タイムアウト時間※」を過ぎてしまった場合に呼び出しの失敗を異常時動作で知らせる機能のこと。

※受信機は呼び出されると同時に受信確認信号を送信機へ返信しますが、その確認信号が送信機に届かず、圏外探知機能が作動するまでの時間。

設定はディップスイッチにて行います。設定の際にはスイッチを間違えないようにご注意ください。

チャンネル番号の設定

送信機のチャンネルは1～10の中から自由に設定／変更することができます。

- 1 ビスを外して裏板を外します。



- 2 下記の一覧表に従いチャンネル番号をディップスイッチ (SW2) で設定します。設定を有効にするために、リセットボタンを押します。



- 3 工場出荷時に送信機の裏側に、現在のチャンネルを表すシールが貼ってあります。このままお使いの場合は、受信機チャンネルも同じ番号に設定してください (設定はP9)。



1 2 3 4 5
① ② ④ ⑧ ⑬

SW2の1～5にはそれぞれ①・②・④・⑧・⑬の数字が割り当てられており、ONにしたスイッチの“和”が設定番号になります。

【一覧表】

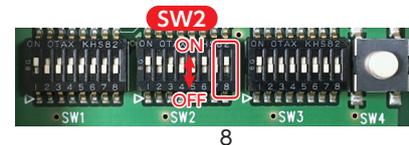
1チャンネル ON OFF 1 2 3 4 5	2チャンネル ON OFF 1 2 3 4 5	3チャンネル ON OFF 1 2 3 4 5	4チャンネル ON OFF 1 2 3 4 5	5チャンネル ON OFF 1 2 3 4 5
6チャンネル ON OFF 1 2 3 4 5	7チャンネル ON OFF 1 2 3 4 5	8チャンネル ON OFF 1 2 3 4 5	9チャンネル ON OFF 1 2 3 4 5	10チャンネル ON OFF 1 2 3 4 5

定期送信機能の有効／無効の設定

呼び出しを行っていないときでも、受信機が受信できる環境であるかを確認するために、定期的な送信を行う定期送信機能の有効／無効を設定できます。

- 1 ビスを外して裏板を外します。
- 2 有効／無効をディップスイッチ (SW2) で設定します。
- 3 工場出荷時には有効に設定されています。必要に応じて設定を変更してください。

⚠【ご注意】変更した設定を有効にするために必ずリセットボタンを押してください。



定期送信の送信間隔の設定

呼び出しを行っていないときでも、受信機が受信できる環境であるかを確認するために、定期的な送信を行う定期送信機能の送信間隔を設定できます。

- 1 ビスを外して裏板を外します。
- 2 送信間隔をディップスイッチ (SW3) で設定します。
- 3 工場出荷時には定期送信の送信間隔短 (10秒) に設定されています。必要に応じて設定を変更してください。

⚠【ご注意】変更した設定を有効にするために必ずリセットボタンを押してください。



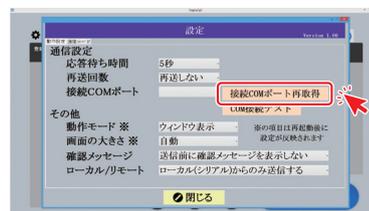
PCに送信機を接続する

送信機は、お手持ちのPCにUSBコードで接続して使用します。
送信機を接続後、お手持ちのPCと適合するCOMポートに設定してください。
設定はPCで行います。

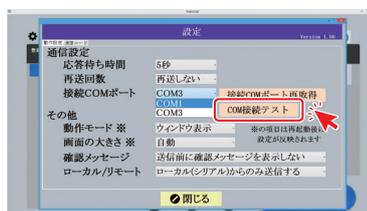


1 お手持ちのPCに送信機を接続します。

2 アプリを立ち上げ「設定ボタン」をクリックし、「動作設定」タブ内の「接続COMポート再取得」をクリックします。

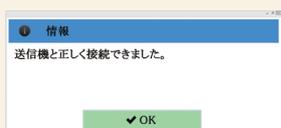


3 「接続COMポート」タブに表示されたCOMポートの中からひとつを選択し、「COM接続テスト」をクリックします。



【接続できた場合】

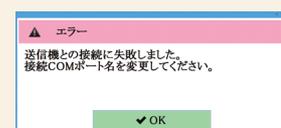
接続の確認を知らせるウィンドウが表示されます。



【接続できない場合】

3の手順に戻り、別のCOMポートを選択し直し、「COM接続テスト」を繰り返してください。

上記の方法でCOMポートに接続できない場合は、アプリをダウンロードした際のzipファイルに同梱されている「Reply Call PC インストール手順.pdf」を再度ご確認ください。



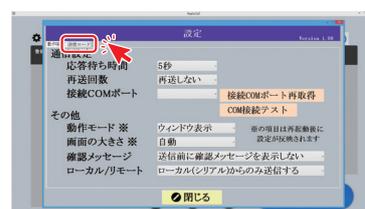
登録コードを設定する

登録コードは、呼び出しをした際に受信機に表示されるコードです。
簡単な動作で受信機側に要件を伝えるために必要です。設定はPCで行います。

1 アプリを立ち上げ「設定ボタン」をクリックします。



2 設定画面から「送信コード」タブをクリックします。



3 「追加ボタン」をクリックします。



4 送信コード編集画面で「コード(好きな番号)」と「内容(場所や人名など)」を登録してください。



【既に登録されたコードを編集・更新・削除する場合】

「設定ボタン」、「送信コード」タブを順次クリックし、既に登録された送信コードをダブルクリックしてください。表示される編集画面で作業を行ってください。



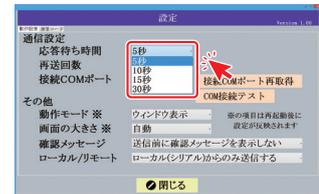
アプリの「設定」にある「動作設定」にはその他にも便利な機能が充実しています。ご利用の環境に合わせて設定してください。

応答待ち時間を設定する

受信機を呼び出して(PCのコールボタンをクリックして)から、呼出応答※が送られるまでの時間を変更します。初期設定では「5秒」に設定されています。

※受信機に送信機からの電波が届いたときに、自動で発信される応答

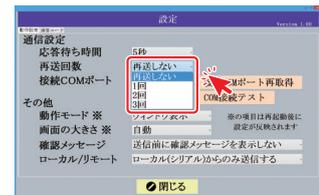
- 1 動作設定タブ内の「応答待ち時間」をクリック。
- 2 ご希望の秒数を「5秒、10秒、15秒、30秒」の中から選びます。



再送回数を設定する

応答待ち時間まで待っても呼出応答が返ってこないときに、再送する回数を変更します。初期設定では「再送しない」に設定されています。

- 1 動作設定タブ内の「再送回数」をクリック。
- 2 ご希望の回数を「再送しない、1回、2回、3回」の中から選びます。



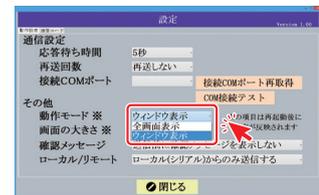
動作モードを設定する

アプリをスクリーン全画面で表示するか、ウインドウとして表示するかを選べます。

アプリ以外にもPCを使用する場合は、「ウインドウ表示」が便利です。

初期設定では「全画面表示」に設定されています。

- 1 動作設定タブ内の「動作モード」をクリック。
- 2 ご希望の表示方法を「全画面表示、ウインドウ表示」の中から選びます。 ⚠【ご注意】この設定は一度アプリを閉じて、再起動した際に反映されます。



画面の大きさを設定する

アプリが表示される画面の大きさを4つの種類から選択できます。初期設定では「自動」に設定されています。

- 1 動作設定タブ内の「画面の大きさ」をクリック。
- 2 ご希望の表示サイズを「自動、大、中、小」の中から選びます。

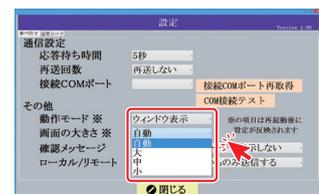
「自動」…スクリーンの解像度を読み取って、適切な大きさに自動で調整します。

「大」…1920×1080ピクセルで表示します

「中」…1366×768ピクセルで表示します

「小」…960×540ピクセルで表示します

⚠【ご注意】この設定は一度アプリを閉じて、再起動した際に反映されます。

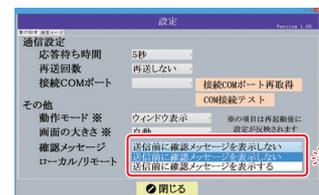


確認メッセージの有無を設定する

コールボタンをクリックする前に表示される、確認メッセージの有無を設定できます。

初期設定では「送信前に確認メッセージを表示しない」に設定されています。

- 1 動作設定タブ内の「確認メッセージ」をクリック。
- 2 表示の有無を「送信前に確認メッセージを表示しない」、「送信前に確認メッセージを表示する」のいずれかから選びます。

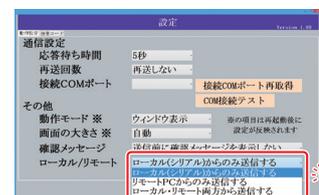


ローカル／リモートを設定する(オプション)

通常は「ローカル(シリアル)からのみ送信する」を選択してください。

「リモート」は、離れた場所のPCに接続された送信機をリモート操作するときを選択します。

ご希望の方は別途、「リプライコールPCリモート」のインストールが必要になりますので、販売店へお問い合わせください。



チャンネル番号の設定

受信機のチャンネルは1～20の中から設定／変更することができます。ただし1chと11ch、5chと15chのように下一桁が同じ数字のチャンネルは対になっており、1chや5chの一桁のチャンネルは1～250台目の受信機を、11chや15chの二桁は251～500台目の受信機を設定する際に使用します。設定はディップスイッチにて行います。設定の際にはスイッチの操作を間違えないようにご注意ください。

※500台以上の受信機を使用する場合や混線が疑われる場合を除いて、通常はチャンネルを変更する必要はありません。

1 ビスを外して裏板を外します。



2 下記の一覧表に従いチャンネル番号をディップスイッチ (SW2) で設定します。設定を有効にするために、リセットボタンを押します。



3 工場出荷時には「1チャンネル」に設定されています。必要に応じて設定を変更してください。

※受信機のチャンネル番号は、送信機のチャンネル番号と同じに設定する必要があります。

【一覧表】

<p>1チャンネル</p> <p>ON OFF</p> <p>1 2 3 4 5</p> <p>1～250</p>	<p>11チャンネル</p> <p>ON OFF</p> <p>1 2 3 4 5</p> <p>251～500</p>	<p>2チャンネル</p> <p>ON OFF</p> <p>1 2 3 4 5</p> <p>1～250</p>	<p>12チャンネル</p> <p>ON OFF</p> <p>1 2 3 4 5</p> <p>251～500</p>				
<p>3チャンネル</p> <p>ON OFF</p> <p>1 2 3 4 5</p> <p>1～250</p>	<p>13チャンネル</p> <p>ON OFF</p> <p>1 2 3 4 5</p> <p>251～500</p>	<p>4チャンネル</p> <p>ON OFF</p> <p>1 2 3 4 5</p> <p>1～250</p>	<p>14チャンネル</p> <p>ON OFF</p> <p>1 2 3 4 5</p> <p>251～500</p>	<p>5チャンネル</p> <p>ON OFF</p> <p>1 2 3 4 5</p> <p>1～250</p>	<p>15チャンネル</p> <p>ON OFF</p> <p>1 2 3 4 5</p> <p>251～500</p>	<p>6チャンネル</p> <p>ON OFF</p> <p>1 2 3 4 5</p> <p>1～250</p>	<p>16チャンネル</p> <p>ON OFF</p> <p>1 2 3 4 5</p> <p>251～500</p>
<p>7チャンネル</p> <p>ON OFF</p> <p>1 2 3 4 5</p> <p>1～250</p>	<p>17チャンネル</p> <p>ON OFF</p> <p>1 2 3 4 5</p> <p>251～500</p>	<p>8チャンネル</p> <p>ON OFF</p> <p>1 2 3 4 5</p> <p>1～250</p>	<p>18チャンネル</p> <p>ON OFF</p> <p>1 2 3 4 5</p> <p>251～500</p>	<p>9チャンネル</p> <p>ON OFF</p> <p>1 2 3 4 5</p> <p>1～250</p>	<p>19チャンネル</p> <p>ON OFF</p> <p>1 2 3 4 5</p> <p>251～500</p>	<p>10チャンネル</p> <p>ON OFF</p> <p>1 2 3 4 5</p> <p>1～250</p>	<p>20チャンネル</p> <p>ON OFF</p> <p>1 2 3 4 5</p> <p>251～500</p>

SW2の1～5にはそれぞれ①・②・④・⑧・⑬の数字が割り当てられており、ONにしたスイッチの“和”が設定番号になります。

受信機番号の設定

受信機番号は1～500 (251～500は2チャンネル目を使用)まで自由に設定／変更することができます。設定は下記の0～Fのコードの組み合わせで、ディップスイッチにて行います。設定の際にはスイッチの操作を間違えないようにご注意ください。

1 ビスを外して裏板を外します。

2 P12の「設定一覧表」内の設定番号に従い十の位と一の位それぞれに下記の「設定簡易コード」をディップスイッチで設定します。

※詳しくはP10の設定例をご覧ください。



【設定簡易コード】

<p>コード: 0</p> <p>ON OFF</p> <p>① ② ④ ⑧</p> <p>すべてOFF</p>	<p>コード: 1</p> <p>ON OFF</p> <p>① ② ④ ⑧</p> <p>コード1=①</p>	<p>コード: 2</p> <p>ON OFF</p> <p>① ② ④ ⑧</p> <p>コード2=②</p>	<p>コード: 3</p> <p>ON OFF</p> <p>① ② ④ ⑧</p> <p>コード3=①+②</p>	<p>コード: 4</p> <p>ON OFF</p> <p>① ② ④ ⑧</p> <p>コード4=④</p>	<p>コード: 5</p> <p>ON OFF</p> <p>① ② ④ ⑧</p> <p>コード5=①+④</p>	<p>コード: 6</p> <p>ON OFF</p> <p>① ② ④ ⑧</p> <p>コード6=②+④</p>	<p>コード: 7</p> <p>ON OFF</p> <p>① ② ④ ⑧</p> <p>コード7=①+②+④</p>
<p>コード: 8</p> <p>ON OFF</p> <p>① ② ④ ⑧</p> <p>コード8=⑧</p>	<p>コード: 9</p> <p>ON OFF</p> <p>① ② ④ ⑧</p> <p>コード9=①+⑧</p>	<p>コード: A</p> <p>ON OFF</p> <p>① ② ④ ⑧</p> <p>コードA(10)=②+⑧</p>	<p>コード: b</p> <p>ON OFF</p> <p>① ② ④ ⑧</p> <p>コードb(11)=①+②+⑧</p>	<p>コード: C</p> <p>ON OFF</p> <p>① ② ④ ⑧</p> <p>コードC(12)=④+⑧</p>	<p>コード: d</p> <p>ON OFF</p> <p>① ② ④ ⑧</p> <p>コードd(13)=①+④+⑧</p>	<p>コード: E</p> <p>ON OFF</p> <p>① ② ④ ⑧</p> <p>コードE(14)=②+④+⑧</p>	<p>コード: F</p> <p>ON OFF</p> <p>① ② ④ ⑧</p> <p>コードF(15)=①+②+④+⑧</p>

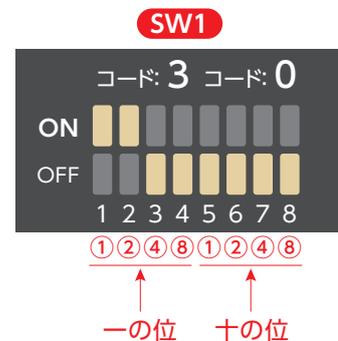
⚠【ご注意】変更した設定を有効にするために必ずリセットボタンを押してください。

⚠【ご注意】同じ受信機番号を2台以上の受信機に設定するとトラブルの原因となります。同じ番号を設定しないようにしてください。

設定例

▶ 受信機番号 **3** を設定する場合

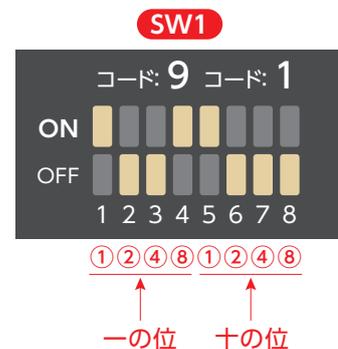
- 1 送信機のチャンネル番号を確認(P6参照)し、同じチャンネル番号に設定します(P9参照)。
- 2 設定一覧表(P12参照)から、3番に対応する設定番号を探します。3番は「十の位が0、一の位が3」となっています。
- 3 設定簡易コードから「0」と「3」に当てはまるコードを、ディップスイッチ (SW1) で設定します。
- 4 設定を有効にするために、リセットボタンを押します。



一の位、十の位ともに、割り当てられた数字(○で囲んだ数字)の“和”が各位の設定番号になります。

▶ 受信機番号 **25** を設定する場合

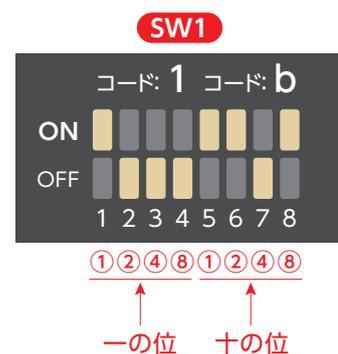
- 1 送信機のチャンネル番号を確認(P6参照)し、同じチャンネル番号に設定します(P9参照)。
- 2 設定一覧表(P12参照)から、25番に対応する設定番号を探します。25番は「十の位が1、一の位が9」となっています。
- 3 設定簡易コードから「1」と「9」に当てはまるコードを、ディップスイッチ (SW1) で設定します。
- 4 設定を有効にするために、リセットボタンを押します。



一の位、十の位ともに、割り当てられた数字(○で囲んだ数字)の“和”が各位の設定番号になります。

▶ 受信機番号 **427** を設定する場合

- 1 送信機のチャンネル番号を確認(P6参照)し、送信機のプラス10チャンネルに設定します(P9参照)。
※受信機番号250以上を設定する場合は、P9の受信機のチャンネル設定を参考に、プラス10チャンネルにする必要があります。
- 2 設定一覧表(P12参照)から、427番に対応する設定番号を探します。427番は「十の位がb、一の位が1」となっています。
※177番と同じ設定内容です。チャンネル番号のみ、プラス10チャンネルにしてください。
- 3 設定簡易コードから「b」と「1」に当てはまるコードを、ディップスイッチ (SW1) で設定します。
- 4 設定を有効にするために、リセットボタンを押します。



一の位、十の位ともに、割り当てられた数字(○で囲んだ数字)の“和”が各位の設定番号になります。

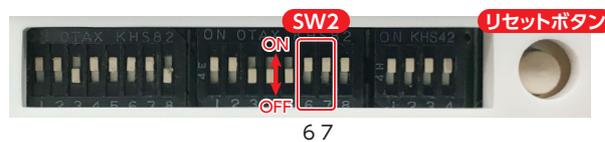
設定番号の不明点がありましたら、販売店までお問い合わせください。

設定はディップスイッチにて行います。設定の際にはスイッチの操作を間違えないようにご注意ください。

チャイム音およびバイブレーション機能の有効／無効の設定

受信機のチャイム音およびバイブレーション機能を有効／無効に設定することができます。

- 1 ビスを外して裏板を外します。
- 2 チャイム音およびバイブレーションの有効／無効をディップスイッチ (SW2) で設定します。
- 3 工場出荷時には、チャイム音・バイブレーション共に「有効」に設定されています。必要に応じて設定を変更してください。



⚠【ご注意】変更した設定を有効にするために必ずリセットボタンを押してください。



圏外表示機能の有効／無効の設定

受信機の圏外表示機能を有効／無効に設定することができます。

- 1 ビスを外して裏板を外します。
- 2 圏外表示機能の有効／無効をディップスイッチ (SW2) で設定します。
- 3 工場出荷時には、「有効」に設定されています。必要に応じて設定を変更してください。



⚠【ご注意】変更した設定を有効にするために必ずリセットボタンを押してください。



チャイム音量の大／小の設定

受信機のチャイム音量の設定ができます。

- 1 ビスを外して裏板を外します。
- 2 チャイム音量の大／小をディップスイッチ (SW3) で設定します。
- 3 工場出荷時には、「大」に設定されています。必要に応じて設定を変更してください。



⚠【ご注意】変更した設定を有効にするために必ずリセットボタンを押してください。



呼び出し完了表示の有効／無効設定

PCの画面表示に☉(呼び出し完了)を表示する有効／無効を設定できます。
※詳しくはP5「呼び出しの流れ④へ」

- 1 ビスを外して裏板を外します。
- 2 ☉(呼び出し完了)表示の有効／無効をディップスイッチ (SW3) で設定します。
- 3 工場出荷時には、「有効」に設定されています。必要に応じて設定を変更してください。



⚠【ご注意】変更した設定を有効にするために必ずリセットボタンを押してください。



重要 SW3の「4」は、リプライコールPCでは使用しません。必ず初期設定のままにしておいてください。



受信機番号 設定一覧表

受信機番号の設定は、SW1の1～4桁目を「一の位」、5～8桁目を「十の位」とし、その組み合わせで設定します。
250台以上の受信機をご利用の場合は、1～250台までを1ch、251～500台までは11chとしてご利用ください。

(250台以上登録する場合は、プラス10チャンネルしてください。例.2chを使用している場合は12chとなります。)

※詳しい設定方法については、P9をご覧ください。

※設定番号の十の位と一の位の位置は反対になっていますので、ご注意ください。

受信機番号 設定番号																			
1ch	11ch	十の位	一の位																
01	251	0	1	51	301	3	3	101	351	6	5	151	401	9	7	201	451	C	9
02	252	0	2	52	302	3	4	102	352	6	6	152	402	9	8	202	452	C	A
03	253	0	3	53	303	3	5	103	353	6	7	153	403	9	9	203	453	C	b
04	254	0	4	54	304	3	6	104	354	6	8	154	404	9	A	204	454	C	C
05	255	0	5	55	305	3	7	105	355	6	9	155	405	9	b	205	455	C	d
06	256	0	6	56	306	3	8	106	356	6	A	156	406	9	C	206	456	C	E
07	257	0	7	57	307	3	9	107	357	6	b	157	407	9	d	207	457	C	F
08	258	0	8	58	308	3	A	108	358	6	C	158	408	9	E	208	458	d	0
09	259	0	9	59	309	3	b	109	359	6	d	159	409	9	F	209	459	d	1
10	260	0	A	60	310	3	C	110	360	6	E	160	410	A	0	210	460	d	2
11	261	0	b	61	311	3	d	111	361	6	F	161	411	A	1	211	461	d	3
12	262	0	C	62	312	3	E	112	362	7	0	162	412	A	2	212	462	d	4
13	263	0	d	63	313	3	F	113	363	7	1	163	413	A	3	213	463	d	5
14	264	0	E	64	314	4	0	114	364	7	2	164	414	A	4	214	464	d	6
15	265	0	F	65	315	4	1	115	365	7	3	165	415	A	5	215	465	d	7
16	266	1	0	66	316	4	2	116	366	7	4	166	416	A	6	216	466	d	8
17	267	1	1	67	317	4	3	117	367	7	5	167	417	A	7	217	467	d	9
18	268	1	2	68	318	4	4	118	368	7	6	168	418	A	8	218	468	d	A
19	269	1	3	69	319	4	5	119	369	7	7	169	419	A	9	219	469	d	b
20	270	1	4	70	320	4	6	120	370	7	8	170	420	A	A	220	470	d	C
21	271	1	5	71	321	4	7	121	371	7	9	171	421	A	b	221	471	d	d
22	272	1	6	72	322	4	8	122	372	7	A	172	422	A	C	222	472	d	E
23	273	1	7	73	323	4	9	123	373	7	b	173	423	A	d	223	473	d	F
24	274	1	8	74	324	4	A	124	374	7	C	174	424	A	E	224	474	E	0
25	275	1	9	75	325	4	b	125	375	7	d	175	425	A	F	225	475	E	1
26	276	1	A	76	326	4	C	126	376	7	E	176	426	b	0	226	476	E	2
27	277	1	b	77	327	4	d	127	377	7	F	177	427	b	1	227	477	E	3
28	278	1	C	78	328	4	E	128	378	8	0	178	428	b	2	228	478	E	4
29	279	1	d	79	329	4	F	129	379	8	1	179	429	b	3	229	479	E	5
30	280	1	E	80	330	5	0	130	380	8	2	180	430	b	4	230	480	E	6
31	281	1	F	81	331	5	1	131	381	8	3	181	431	b	5	231	481	E	7
32	282	2	0	82	332	5	2	132	382	8	4	182	432	b	6	232	482	E	8
33	283	2	1	83	333	5	3	133	383	8	5	183	433	b	7	233	483	E	9
34	284	2	2	84	334	5	4	134	384	8	6	184	434	b	8	234	484	E	A
35	285	2	3	85	335	5	5	135	385	8	7	185	435	b	9	235	485	E	b
36	286	2	4	86	336	5	6	136	386	8	8	186	436	b	A	236	486	E	C
37	287	2	5	87	337	5	7	137	387	8	9	187	437	b	b	237	487	E	d
38	288	2	6	88	338	5	8	138	388	8	A	188	438	b	C	238	488	E	E
39	289	2	7	89	339	5	9	139	389	8	b	189	439	b	d	239	489	E	F
40	290	2	8	90	340	5	A	140	390	8	C	190	440	b	E	240	490	F	0
41	291	2	9	91	341	5	b	141	391	8	d	191	441	b	F	241	491	F	1
42	292	2	A	92	342	5	C	142	392	8	E	192	442	C	0	242	492	F	2
43	293	2	b	93	343	5	d	143	393	8	F	193	443	C	1	243	493	F	3
44	294	2	C	94	344	5	E	144	394	9	0	194	444	C	2	244	494	F	4
45	295	2	d	95	345	5	F	145	395	9	1	195	445	C	3	245	495	F	5
46	296	2	E	96	346	6	0	146	396	9	2	196	446	C	4	246	496	F	6
47	297	2	F	97	347	6	1	147	397	9	3	197	447	C	5	247	497	F	7
48	298	3	0	98	348	6	2	148	398	9	4	198	448	C	6	248	498	F	8
49	299	3	1	99	349	6	3	149	399	9	5	199	449	C	7	249	499	F	9
50	300	3	2	100	350	6	4	150	400	9	6	200	450	C	8	250	500	F	A

【専用アプリ 動作環境】

ソフトウェア	(32bit) Windows 10 32bit 日本語版	(64bit) Windows 10 64bit 日本語版
	Windows 8.1 32bit 日本語版	Windows 8.1 64bit 日本語版
	Windows 8 32bit 日本語版	Windows 8 64bit 日本語版
	Windows 7 32bit 日本語版	Windows 7 64bit 日本語版

コンピューター | 上記OSが動作するコンピューター

ハードウェア | 15MB 以上の空き領域が必要

【仕様】

送信機	型式	RE-100	
	サイズ	170(W)×85(D)×40(H)mm	
	重量	約200g	
	電源	USB供給	
	周波数	426.025～426.1375MHz 特定小電力	
	チャンネル	10チャンネル	
	到達距離	約100m	
	消費電力	約3W(ピーク時)	
受信機	型式	RE-200	
	サイズ	51(W)×116(D)×19(H)mm	
	重量	約100g(電池パック含む)	
	電源	リチウムイオンポリマー充電電池	
	周波数	426.025～426.1375MHz 特定小電力	
	チャンネル	20チャンネル	
	動作	受信LED・7セグLED・電子音・パイプレーション、受信音量2段切替有り、約0℃でパイプレーション作動不可、圏外表示機能有り	
	電池残量確認	赤色LEDの点灯／点滅速度で表示	
	連続待受時間	約30時間(圏内時、フル充電時)	
	充電時間	約6～8時間	
アンテナ	内蔵式		
充電器	型式	RE-305(5台タイプ)	RE-310(10台タイプ)
	サイズ	79(W)×165(D)×54(H)mm	79(W)×290(D)×54(H)mm
	重量	約400g	約550g
	電源	100V DC6Vアダプタ	
	方式	接点充電、収納部セパレート式(掃除可能)	
	消費電力	約12W(ピーク時)	約24W(ピーク時)
中継機	型式	RE-400	
	サイズ	170(W)×85(D)×40(H)mm	
	重量	約200g	
	電源	100V DC6Vアダプタ	
	周波数	426.025～426.1375MHz 特定小電力	
	チャンネル	20チャンネル	
	受信電波強度表示機能	有り	
	到達距離	対送信機 約300m／対受信機 約100m	
	設定番機	同一チャンネルエリア 1～9番機	
	消費電力	約3W(ピーク時)	

お手入れ方法

⚠ 警告 | 感電のおそれがありますのでお手入れの前には電源プラグを抜いてください。

- 汚れが気になる場合は、固く絞った柔らかい布でふいてください。
- 汚れがひどい場合には、薄めた食器用中性洗剤を含ませた布でふいた後、固く絞った柔らかい布でよくふいてください。
(特に冬場は静電気の影響でホコリが付きやすくなることがあります)

⚠ 警告 | 火災や感電のおそれがありますので、製品や電源プラグ部に水や洗剤をかけないでください。

⚠ 注意 | ベンジン、シンナー、クレンザー、ナイロンたわしなどの使用は、プラスチックを傷めますのでやめてください。
(プラスチックが割れてケガをするおそれがあります)

故障かな?と思ったら

- PCアプリから送信コードを選択し、呼び出しをしても、受信機が受信しない。
 - ▶ PCに送信機がUSBで接続されているか確認してください。
- 送信機で呼び出ししてもいないのに、受信機が作動する。
 - ▶ 近くで同機種(リプライコール、リプライコールPCが)の同チャンネルの店舗があるかもしれません。
チャンネルの設定を変更してください。(P6・9参照)

安全上のご注意

安全に正しくお使いいただくために

- ご使用前に、「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここで記した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、ご使用になる方や他の人々への危害、損害を未然に防止するためのものです。
- 本製品はあくまで連絡用です。生命維持などの用途には使用しないでください。

⚠ 警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人体に多大な損傷を負うおそれが想定される内容を示しています。

- お手入れの前には電源プラグを抜いてください(感電のおそれがあります)。
- コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるかったりする時は使用しないでください(感電やショートして発火することがあります)。
- コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、ひっぱったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください(感電やショートして発火することがあります)。
- 製品に水や洗剤をかけないでください。
- 水のかかるところや、湿気が多い場所には設置しないでください(火災や感電のおそれがあります)。
- 修理技術者以外の人は、分解をするほか、修理・改造は行わないでください(火災や感電のおそれがあります)。
- コードを乱暴に扱わないでください。
- 電源プラグの刃及び刃の取り付け面にホコリが付着している場合は、よく拭いてから使用してください(火災や感電のおそれがあります)。
- 煙が出たり、変な臭いや音が出たりするときは使うのをやめ、電源プラグを抜いてください(火災や感電のおそれがあります)。
- 内部に水や異物などが入った時や外装ケースが破損したときは、使うのをやめ、電源プラグを抜いてください。
- 濡れた手で、電源プラグの抜き差しは行わないでください(感電の原因となります)。

⚠ 注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負うおそれ及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- 電源コードを抜くときは、コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って抜いてください(感電やショートして発火することがあります)。
- 不安定な場所や火気の近くでは使用しないでください(変形・故障の原因となります)。
- 送信機を移動させるときは、アンテナを折りたたんだから移動させてください(アンテナが折れたり、アンテナの先でけがをしたりする原因となります)。
- 長時間ご使用にならないときは、安全のため、電源プラグをコンセントから抜いてください(火災の原因となります)。
- 雷が鳴り出したら、電源プラグに触れないでください(火災や感電のおそれがあります)。
- 強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。
- 通気孔をふさがないでください(火災や故障の原因となります)。
- 磁気を帯びたものを近づけないでください(故障の原因となります)。

保証とアフターサービス

■保証書

保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みの後、大切に保管してください。保証期間は、お買い上げから1年間です。

■補修用性能部品の最低供給年限

この製品の補修用性能部品の最低供給年限は製造終了後3年です。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ご不明な点に関するご相談

お買い上げの販売店にお問い合わせください。

■修理を依頼される場合

P14「故障かな?と思ったら」にしたがってお確かめいただき、なお問題が解決しないときは、電源を切り、販売店にご連絡ください。

■保証期間中

修理の際は保証書をご提示ください。保証書の規定にしたがって販売店が修理させていただきます。

■保証期間が過ぎているとき

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。販売店にご相談ください。

保証書

本書は、本件商品「リプライコールPC」に対して、性能及び通常有すべき安全性を有することを保証するものです。但し、使用先での設置状況や使用状況により生じた、性能及び安全性を阻害する場合は、その責任を負わないものとします。

保証期間は、本件商品を出荷した日から1年間とし、品質上の瑕疵、欠陥があった場合は、代替交換若しくは無償で修理を行うものとします。この場合は、輸送による方法としその送料は、メーカーの負担とします。

次の事由による場合は、1年以内であっても保証の対象とはいたしません。

1. 災害又は事故による破損
2. 盗難による喪失
3. 故意又は不可抗力による破損・喪失

保証期間が過ぎている場合は、希望により有料にて、可能な限り修理させていただきます。この場合は、ご購入された販売代理店に申し出てください。

本件商品の補修は、製造終了後3年とします。

保証を受ける場合は、同封の保証書(コピー可)と、対象商品を送ってください。なお、保証書を紛失された場合は、対象にならない場合があります。

※保証書のお客様の住所・氏名・電話番号の記入は、必須です。

品名	リプライコールPC			
無料修理保証期間	1年	出荷日	年	月 日
お客様	住所 〒			
	TEL			
	氏名			
販売店名				様
				印